



社団法人 宮津青年会議所

創立45周年記念誌



The Creed of Junior Chamber International

We Believe;
我々はかく信じる

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;
信仰は人生に意義と目的を与え

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;
人類の同胞愛は国家の主権を超越し

That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;
正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され

That government should be of laws rather than of men ;
政治は人によって左右されず法によって運営されるべきものであり

That earth's great treasure lies in human personality ; And
人間の個性はこの世の至宝であり

That service to humanity is the best work of life
人類への奉仕が人生最善の仕事である

J C 宣言

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り拓き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと協和する確かな時代を築くために

率先して行動することを宣言する

綱 領

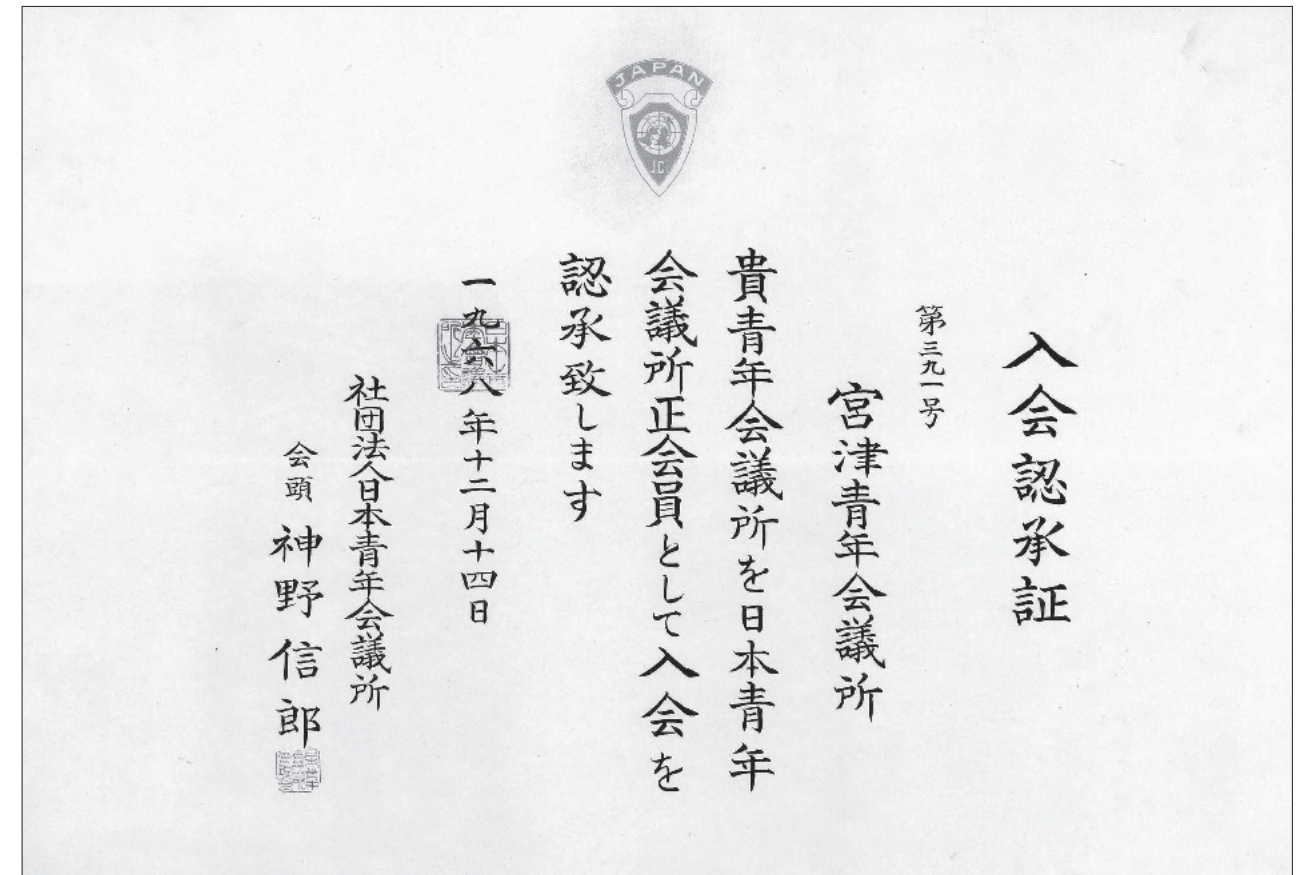
われわれ J A Y C E E は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者、相集い、力を合わせ

青年としての英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう



目 次

運動指針（PRIDE2007～榮志共創～）	1
活動指針（Carpe diem 今を生き今を楽しめ 明日のために）	2
ご挨拶	3
ご祝辞	4
これまでの歩み（創立～40年）	11
（41年～45年）	13
記念事業紹介	23
継続事業	25
理事長対談	27
メンバー紹介	29
特別会員・物故会員紹介	32

Carpe diem
今を生き今を楽しめ 明日のために

創立50周年にむけての運動指針

< PRIDE2007 ～楽志共創～ >

1968年明るい豊かな社会の創造を信じて英知と勇氣と情熱を持った青年たちによって設立された宮津青年会議所は本年創立40周年を迎えます。これまでに地域主権型社会の実現を掲げ、広域生活圈をも視野に入れ、地域に密着したまちづくりを展開してきました。それは行政形態の如何に関わらず、現在も宮津・与謝の未来を見据えた「ひとづくり、まちづくり」を推進することに他なりません。地方分権の名のもと急速な行財政改革が進む中、この宮津・与謝も一市四町から一市二町へと新たな枠組みとなりました。創始から「宮津・与謝はひとつ」の理念のもと先輩たちによって積み上げられてきた四十年の基盤の上に立つ私たちの志は、寸分も違わずこの宮津・与謝の未来に向かってさらに強固なものとなっています。少子高齢化、人口減少、地場産業や地域経済の低迷、利己主義、無関心の蔓延等々、多くの問題に直面しているこの地域。全てはひとつの問題です。ひとの変革こそがまちを変革してゆくのです。

世界に誇る自立した地域として生き残るにはそれぞれのまちの個性を自覚し、役割を再認識し連携を取り、広域で取り組んでいかねばなりません。それにはこれま

での画一的な発展を目指している猶予はありません。一刻も早くそれぞれのエリアが得意とする魅力を増幅させ、ないものをつくらずに捨てる勇氣と覚悟を持ち、宮津・与謝の広域エリアでこそ完成するストーリーを発信しなければならないのです。この地域が独善から人々を守り、見方を深め、よりよきものを生み出す叡智ともいえる「3人寄れば文殊の知恵」といった素晴らしい言葉にある関係となった今こそ、天橋立物語のプロローグなのです。

真の地域主権を目指して自立した「明るい豊かな宮津・与謝」の実現に向け、「誇れるひと」「誇れるもの」「誇れるまち」の3つの「誇り」を機軸とした指針を掲げ、この地域のアイデンティティと絆の確立を目指し、運動を展開して参ります。宮津JCメンバー一人ひとりが、その自覚に基づく高い志をもって、果敢に実践・行動を繰り返し、使命を全うする事でこの地域でのリーダーシップを発揮し、より強固な組織を創り上げ力強く発信していきます。そして住民一人ひとりと共にこの地域を愛し「誇り」を持ち、豊かな心と世界に誇れるふるさと宮津・与謝を創造します。

- < 誇れるひと > ・ 郷土愛の醸成と人間力の活用
・ 広域的な人的ネットワークの確立・発展
・ 地域教育の役割の再認識と連携による次世代育成
- < 誇れるもの > ・ 天橋立を中心とした歴史的・文化的資産の発信及び活用
・ 伝統技術の継承と地場産業の進化
・ 地域の自然環境保全と循環型社会の確立
- < 誇れるまち > ・ マニフェスト・サイクルの推進による協働型社会の実現
・ 総合的視野に立ったまちづくりビジョンの提言
・ 地域間の連携と相互理解による一体感の醸成

※2007年、有吉理事長(当時)が創立40周年記念式典において発表いたしました。
(社)宮津青年会議所の10年間の指針として、我々の活動の羅針盤となっております。

創立50周年にむけての5ヵ年活動指針

Carpe diem 今を生き今を楽しめ 明日のために

社団法人宮津青年会議所は、2007年度創立40周年において、「誇れるひと」「誇れるもの」「誇れるまち」の3つの「誇り」を機軸とした創立50周年にむけての運動指針「PRIDE2007～楽志共創～」を掲げ、「明るい豊かな宮津・与謝」の実現に向け、JC運動を展開して参りました。2012年度創立45周年の節目の年を迎えるにあたり、時代の変化にも柔軟に対応し、より地域に密着した活動を進めるべく、5ヵ年活動指針を掲げ、創立50周年にむけて明確な活動目標を持って、JC運動を進めて参ります。

私たちは、愛する宮津・与謝地域のために、まちの次代を担う子どもたちの郷土愛や道德心を育み、地域住民と共に学び人間力を高め、故郷を愛するひとで溢れる一体感のある地域社会の醸成を目指して活動して参ります。また、歴史・文化・産業等に恵まれた地域として、様々な資源や個性・特性を活かし先人の想いや伝統を継承しながら、更にその魅力を高め地域へ広

く発信し、次代に引き継いでいかなければならないと考えます。そして、協働型社会の確立と住民自らの選択と責任による主体的な行動によって自立したまちへと変革を遂げるために、住民一人ひとりが社会的役割を認識し、自立と共助の調和した地域社会の実現を目指して活動して参ります。ひとがまちを創り、まちがひとを育むのであれば、私たち青年は、地域と共に自らも成長するものと考え、青年たる無限の可能性に果敢に挑戦し、時代を創っていくこの地域のファシリテーター(中立的仲介者)として、それぞれ培った知識や能力・経験を最大限に発揮し、この激動の時代を乗り越え、希望に溢れる未来を描き、その実現へ向けて、情熱溢れる運動を力強く展開して参ります。

今というこの時間を無駄にすることなく、今しかできないことを精一杯に、そして楽しみながら真剣に生きることが、明日につながり未来を創っていくと信じ、魅力と絆に溢れた誇れる宮津・与謝の創造に向かって行動することをここに誓います。

活動指針

宮津・与謝の青年として

まちの歴史・文化・こころを継承し

誇りを胸に 知恵と想像力を活かし

共に歩み 絆を深め

新しい明日のために

果敢に行動することを誓う

ご挨拶



（社）宮津青年会議所
創立45周年実行特別委員会
委員長

山添 宏明

（社）宮津青年会議所
創立45周年実行特別委員会
委員長

堀尾 知弘



社団法人宮津青年会議所は1968年「宮津・与謝はひとつ」の理念のもと、明るい豊かな社会の創造を目指し、宮津市・伊根町・岩滝町・加悦町・野田川町の志高き50名の青年たちが集い、英知と勇気と情熱を結集し、社団法人舞鶴青年会議所様のスポンサーのもと、日本で391番目の青年会議所として誕生いたしました。設立以来45年間、地域に根ざした団体として行政・関係諸団体の皆様や地域の皆様と共に地域主権型社会の実現を目指し、様々なまちづくり事業やまちの次代を担うひとづくり事業を展開し、市民意識変革運動に取り組んで参りました。

創立45周年を迎える本年度は『絆の力』～想いをひとつに 誇れる宮津・与謝の創造!～をスローガンにメンバーが共にひとつの目標にひたむきに挑戦することで強くなる「絆の力」を通して、私たちの愛するまち・ひとのために地域の未来を担う責任世代として自覚を持って誇れる宮津・与謝の創造を目指し、積極的に運動を展開するとともに創立45周年スローガン「Carpe diem 今を生き今を楽しめ 明日のために」を掲げ、今自分の近くにいる人を大切に、今しかできないことを意識して今を精一杯楽しみながらJC運動に邁進し、今日を真剣に生きることが明日につながり、未来を創っていくと信じてメンバー一丸となって果敢に行動して参りました。去る6月3日には「創立45周年記念式典並びに祝賀懇親会」を挙げて頂きました。記念式典において、2007年度に発信させていただいた創立50周年にむけての運動指針「PRIDE2007～楽志共創～」を時代の変化にも柔軟に対応進化させ、より地域に密着した活動を進めるべく5ヵ年活動指針を掲げ、創立50周年にむけて明確な活動目標を持って、JC運動を展開して参る気概と覚悟をお誓いさせていただきました。私たちは愛する宮津・与謝地域のために、青年たる無限の可能性に果敢に挑戦し、時代を創っていくこの地域のファシリテーターとしてそれぞれ培った知識や能力・経験を最大限に発揮し、この激動の時代を乗り越え、希望に溢れる未来を描き、魅力と絆に溢れた誇れる宮津・与謝の創造に向かって情熱溢れる運動を力強く展開して参ります。

今後とも私たち社団法人宮津青年会議所に対しまして皆様方により一層のご理解とご協力、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

Carpe diem
今を生き今を楽しめ 明日のために

本年、宮津青年会議所はその誕生から45年という歴史を刻むことが出来ました。これも偏に先輩諸兄、地域の皆様のご協力と、各地青年会議所のメンバーの皆様の厚い友情によるものと深く感謝申し上げます。次第で御座います。

創立45周年を迎える本年、周年スローガンとして掲げました「Carpe diem（カルペディエム）今を生き今を楽しめ 明日のために」は、古代ローマの詩人ホラティウスの詩の一節であり、その言葉には明日は死ぬかもしれないんだから今日を精一杯生きようという意味が込められています。また、明日のためには、今日を真剣に生きることが明日につながり、未来を創っていくことを意味しています。戦後、焼け野原になった母国を見て志を立て、国のため、地域のため、そして自分たちの未来のために懸命に活動してきた黎明期の青年は、まさにこうした想いを胸に抱きつつ毎日を歯を食いしばって生き抜いてきたのであろうと思います。

今という現実と真摯に向き合い、何を行動すべきか。我々青年は、地域の担い手として決して諦めることなく未来を信じ行動しなければいけません。創立50周年にむけて掲げました活動指針は、そうした私たちの決意であります。

私たちは、この地域の青年として誇りと夢と希望を胸に、輝かしい未来とその実現に向かって努力を惜しむことなく果敢に行動し続けたいと思います。そして地域に必要とされる団体となれるようこれからも活動していく所存でございます。どうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

ご祝辞



京都府知事

山田 啓二



京都府議会議員

多賀 久雄

社団法人宮津青年会議所の創立45周年を心からお祝い申し上げます。皆様方におかれましては、昭和43年の創立以来、歴代の理事長をはじめ、現山添理事長や会員の皆様が、地域住民や団体の皆さんとともに、「明るい豊かな社会の実現」の理念のもと、若々しい感性と柔軟な発想で地域社会、地域経済の発展に寄与いただいているところであり、その御尽力に対し、深く敬意を表しますとともに改めて感謝申し上げます。

特に貴会議所では、まちの次代の育成に力を入れられ、郷土愛を育む「宝探しアドベンチャー天橋立」事業や地域の魅力を実感できる青少年絵画交流事業など、地域と一丸となった、多様な事業を展開されているほか、いち早く一般法人への移行を予定されるなど組織的にも改善を図っておられ、今後も、ますます地域のリーダーとして地域の発展に御貢献いただけるものと期待しております。

京都府といたしましても、明るく豊かな社会を創造する皆様方の活動と連携しながら、昨年11月に日本海側拠点港の選定を受けた京都舞鶴港や、北近畿タンゴ鉄道の活用の促進、京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道の平成26年度全線開通に向けた整備の促進、さらには、地域の医療機関である与謝の海病院の医科大学附属病院化などの地域医療機能の強化など、誰もが幸せを実感できる「明日の京都」をめざして精一杯取り組んでまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに当たり、創立45周年を契機として、皆様方が今後ますます御活躍され、地域の発展に一層御貢献いただきますことを期待申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

社団法人宮津青年会議所創立45周年記念誌発刊おめでとうございます。また、45年にわたり当地域の青年会議所活動を実践してこられた皆々様に、深い敬意を表しますとともに、次なる50周年に向けて大いなる歩みを始められましたことをお祝い申し上げます。

さて、皆様は、古代ローマの詩の語句を引用された「Carpe diem」を、「今を生き今を楽しめ 明日のために」と訳し、創立45周年のスローガンにされておられます。

皆様がどんなイメージを持ち、どんな思いを込められておられるのか存じませんが、言葉の含蓄を詳しく知らない私は、「神々が与える死という恐れの中で生きなければならない人々への生き方の一つの啓示」と捉えても間違いではないと知った時、頭に浮かんだのが教育勅語であります。

私は、日本人としての正しい生き方の手本は教育勅語にあると強く信じており、学校に掲額することまでは望みませんが、少なくとも学校や家庭で教えるべきであると思っております。そんなことから、議会でも問題提起しておりますし、数年前から成人式の祝辞でも、新成人にどうしても伝えたいくだりを、新成人の皆さんにも分かるように話しております。それは、「父母二孝二兄弟二友二夫婦相和シ朋友相信シ」という一節と、「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ」という一節であります。

この寄稿文で教育勅語を書くことも私の「Carpe diem」の一つであります。

皆様の「Carpe diem」は、宮津・与謝の青年として、まちの歴史・文化・ところを継承し、誇りと知恵と想像力を持ち合わせ、共に歩み、絆を深め、新しい明日へ向かい果敢に行動することであると知りました。信ずる道をひたすら突き進んでください。

結びに、皆様の今後の活動が、大きな成果をあげることをご期待申し上げますとともに、未来が、皆様にとりましても、この地域にとりましても、輝かしいものとなりますことを祈念いたしまして、私のお祝いの拙文といたします。

ご 祝 辞



宮津市長

井上 正嗣

社団法人宮津青年会議所が、創立45周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。宮津青年会議所におかれましては、創立以来、「修練」、「奉仕」、「友情」という三つの信条のもと、明るい豊かな地域社会を目指して、「クリーンはしだて1人1坪大作戦」などの社会奉仕活動への参加、青少年の健全育成活動をはじめ、市町長選挙などでは公開討論会を企画・開催されるなど、その多彩な活動に改めて敬意を表する次第でございます。特に近年は、宮津・与謝の1市2町共同で取り組んでおります「天橋立世界遺産登録運動」において、平成20年のHAND in HAND を皮切りに、シンボルマークの製作や天橋立ラッピングバスの運行など、地域住民を巻き込んだ気運醸成活動に精力的に取り組んでいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。世界遺産登録を目指す道のりは長く厳しいものです。専門的な視点からのアプローチも必要ですが、何よりも大切なのは、住民の天橋立を愛する気持ち、意識の高まりであると考えておりますので、今後ともお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、当地域はこれまでから「産業の停滞」「人口減少」「地域力の衰退」という構造的なマイナス連鎖に陥っており、地域経済界の状況は年々厳しさを増しているものと認識しております。宮津市としても、このマイナスの連鎖を断ち切らない限り、当地域の将来の発展はないという強い危機感を持って、行政運営に当たっております。長年抱える課題であり、一朝一夕に解消できるものではございませんが、住民、事業者の皆さんと一緒に立ち向かっていきたいと考えております。特に、産業振興といった分野は、行政と事業者の皆さんが一緒になって、まさに二人三脚で進めていかなければならないものであります。そして、行政は事業者の皆さんが伸び伸びと活躍できるフィールドづくりを担い、そこでプレイする言わば主人公は、事業者の皆さんであると考えております。宮津青年会議所の皆様方には、本地域の発展のために、次代を担う経済界のリーダーとして、更なるご活躍を期待するところでございます。

結びに、創立45周年を迎えられました社団法人宮津青年会議所の今後ますますのご発展と、会員皆様のご多幸、ご繁栄を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

伊根町長

吉本 秀樹



社団法人宮津青年会議所の創立45周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。また、会員の皆様方におかれましては、平素から経済・産業の振興はもとより、明るく豊かな地域社会の実現に向けて積極的なまちづくり活動を展開され、地域の発展に多大な貢献をいただいておりますことに深く感謝申しあげますとともに、歴代関係者の深甚なるその熱意に心から敬意と感謝を表します。

さて、国内外において政治経済が混沌としております。JCのOBとして自身の現役時代（昭和50・60年代）を振り返ると、激動の時代などよく思ったものです。しかし、今に比べれば大変恵まれていたと感ずる、現役メンバーは、会社経営に、町づくりに大変でありましょう。松下幸之助は「好景気よし、不景気またよし」と言った。好景気は、ほっておいても、誰がやっても、そこそこ行く。現状維持で反省・改革が無い。その点、不景気は大変、このままでは潰れる、抜本的な改革が必要、経営力がないとやっていけない。経営の差は不景気で付く。よって、「不景気またよし」と言うことであろう。我々共に泣き言を並べても物事は始まらない、与えられた試練を天から授かった有難いチャンスと考えようではないか。

本町では、平成22年に第5次伊根町総合計画を策定いたしました。本総合計画は「ひとが生き生き」をキャッチフレーズとし、町民のすべてが幸せを感じる施策に取り組み、小さくてもオンリーワンの町づくりを目指しています。地域主権への転換期に本町の行政運営においても、権限や財源を着実に確保しつつ、恵まれた地域資源を活かした施策を幅広く展開し、交流人口の増加と経済の発展を基軸に、福祉、医療、教育等が充実する行政の推進を目指したと考えております。このようなまちづくりを推進していくためには、貴会議所の会員皆様方の若い行動力、そして、皆様方には45年の間、脈々と受け継がれた宮津・与謝を愛する精神を遺憾なく発揮し、積極果敢な事業展開こそが宮津・与謝地域の振興に寄与する大きな原動力であると確信いたしております。次代を担うリーダーとして、今後も本地域の飛躍を目指すまちづくりに一層のお力添えとご指導を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、社団法人宮津青年会議所の今後益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申しあげ、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞



与謝野町長

太田 貴美

社団法人宮津青年会議所が創立45周年という記念すべき年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

宮津青年会議所では、昭和43年の創立以来、共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとで、明るい豊かなまちの創造を目指して、代々この地域で活躍されています青年の皆さんが、相互に信頼と親睦を深められ、活動されてきました。

また、45年間という長い間、この地域のあらゆる分野で新しい風を吹き込み、活躍されてきたことに心から敬意を表する次第です。

与謝野町は、誕生して6年が経ち、「持続可能なまちづくり」という目標に向けて、「与謝野町総合計画」の中で掲げてきた「自助」「共助」「商助」「公助」をお互いに実践し、協働のまちづくりを進めています。まちづくりの主役は、その地域に住むみなさん一人ひとりであり、行政は、そんな皆さんの夢や目標への挑戦を応援し、一人ひとりが輝けるよう支えていきたいと考えております。

そこで、この宮津・与謝地域で、宮津青年会議所のみなさんの若いエネルギーを持って、時代と地域に即応した「まちづくり・ひとづくり・組織づくり」に取り組まれ、活躍されることを期待しています。

また、先輩方が長きにわたって築きあげてこられた伝統と歴史を守っていただきながら、みなさんのスローガンである「絆の力」で、明日の宮津・与謝を創造する地域に根ざした組織であり続けることを望みます。

結びに宮津青年会議所の今後ますますのご活躍、ご発展と関係者のみなさまのご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

宮津市議会議長

小田 彰彦



宮津青年会議所の創立45周年おめでとうございます。

私もはるか28年ほど前にJCを卒業した身ですので今更ながら感慨深いものがあります。時代も変わり経済的な環境も違いますが、やはり20代、30代の多感な時は人間の成長という面からは大変意外性に富んだ時でもあり、JC活動を通じて「開発する主体が開発される」醍醐味を是非体験していただきたいものと思います。また夢や悩みを共に分かち合う友を得る大事なときでもあり、仕事だけでは得られない多くの財産に恵まれる時ではないかと思ひます。どうか丁寧にまじめに、そして思い切りJCライフを謳歌していただきたいと思います。

さて、議会とJCとは特に最近は接触を持つ機会が増えてきているように思います。議会も全国的に「議会基本条例」なるものを作って「開かれた議会」を目指し対外的な活動を強化しようと努めておりますので、丁度いいタイミングで議論ができていくように思っております。議員はそれぞれの地域、団体、政党などから選ばれてくるだけに、ひとつの案件にも賛成や反対があり、決してまとまりがよいということはありません。しかしよくご承知の通り、市長あるいは町長も直接に選挙で選ばれます。そして予算を編成し政策を議会に提案してきます。議会とは提案された政策を審査し多数決でこれらを決めてゆく場所なのであります。つまり住民の意志をここで決定するという大事な場所であります。議員はこれらを決定する上において高度な倫理性、公平性、また将来性、経済性など住民福祉に役立つ観点からの深い洞察力が求められるものと考えております。故に市民に対し「議決責任」を有するものであり、それらの「説明責任」を伴うものであると考えられます。その意味から言っても議会は「開かれた」ものであらねばならないと考えております。

われわれ議員もみなさん方と対話の機会がもてることを大いに期待いたしております。

ご 祝 辞



伊根町議会議長

宮下 愿吾

与謝野町議会議長

赤松 孝一



宮津青年会議所が創立45周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。宮津青年会議所の皆様におかれましては、「宮津・与謝はひとつ」という理念のもとに、町づくりやボランティア、そして多くの地域貢献・地域活性化等の事業に積極的に取り組んでこられました。地域に根ざした団体として、先輩から後輩へと受け継がれ、多くの積み重ねられてこられたJCの活動により、地域の発展に尽くされてこられたことに、深く敬意を表します。

長年にわたり、脈々と受け継がれてきた英知と勇気、そして情熱は、今なお守り継がれて、各事業の実施や、また、各委員会で多くの地域の課題に果敢に取り組んでこられました。特に、まちづくり委員会が昨年度「地方自治について」取り組んでこれましたが、私たち議員も、そういった機会によって、首長、議会、住民の果たすべき役割について、それぞれが役割分担をすることによって、団体自治と住民自治との2つの要素が機能した、地方自治の本旨について改めて考える機会となりました。現在は少子高齢化、そして今まで経験したことのない経済も低成長時代が続いていますが、強い「志」があればどんな困難も克服し物事が成就するものです。今後も先人の伝統を受け継ぎ、この記念すべき45周年を契機に、アイデアあふれる取り組みをさらに充実され、豊かで活力ある地域社会の実現に向け、引き続きご活躍されますことを心からご期待申し上げます。

創立45周年という輝かしい節目を迎えられ、山添理事長をはじめ、会員の皆様のますますのご発展とご健勝をご祈念申し上げ、記念誌発刊にあたってのお祝いの言葉といたします。

社団法人宮津青年会議所が創立45周年という記念すべき年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

宮津青年会議所は、創立から現在までこの地域において、多くの青年の皆さんがまちづくり・地域社会づくりを熱心に取り組んでこられる中で、お互いの親睦と信頼を深めてこられました。

このたび、45周年の記念誌を発刊されるにあたり、これまでの45年の歴史を振り返り、新たな時代へ向かってステップアップされることは大変意義深いと思います。

さて、3町合併による与謝野町が誕生してからやや6年が経過し7年目に入っております。地方分権時代を迎えて、ますます厳しい財政状況とともに行政需要が増大する中、まちが自らで決定し、自からが責任を負わなければならない範囲が拡大してきており、議会が地域の発展と福祉の向上のために果たす役割は大きいものがあると思います。議会においては、積極的に情報を公開して、町民が政策活動へ参加しやすいよう推進するとともに、町民に信頼される議会を築かなければならないと思っています。本年3月には、議会の憲法とも言われる「議会基本条例」を制定しました。町民に開かれた議会活動と、住民参加の議会運営を進めることを定めています。議会における傍聴やテレビの中継、議会だよりやホームページなどで町民に報告するとともに、今年度から町民との情報交換や意見交換する場として、議会懇談会を開催しています。議員は町民から選ばれた代表として、公平な立場に立ち、町民から信頼を得るよう、住民全体の利益のために今後も取り組んでいく所存でございますので、宮津青年会議所の皆さん方におかれましても、今以上のお力添えを切にお願い申し上げます。

結びに、宮津青年会議所の皆さんにおかれましては、若い力と行動力で地域の皆さんとの『絆』をさらに深められ益々発展されますとともに、関係者の皆様のご健闘とご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞

公益社団法人日本青年会議所
第61代会頭

井川 直樹

公益社団法人日本青年会議所
近畿地区協議会 会長

平山 伸吾

社団法人宮津青年会議所が創立45周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。創立以来、地域社会の発展にご尽力されてこられました先輩青年の皆様のご功績に心から敬意を表しますとともに、誇り高き志を受け継ぐ現役メンバーの皆様にご心より感謝とお祝いを申し上げます。

日本青年会議所では、2011年に創立60周年を迎え、10年先をしっかりと見据えた俯瞰的な視野と意識変革が求められるなか、『己を律し、行動するJAYCEE 「自立」と「共助」が調和し、「生き抜く力」と「生かされていることへの感謝」が漲る社会へ』を2010年代の運動指針として発信いたしました。そして、本年は『呼び覚ませ 日本のプリンシプル!』のスローガンのもと、東日本大震災に対する復興支援はもちろんのこと、日本の構造的な問題と解決しなければならない課題に対し、全国の同志とともに日本の青年としての矜持を持って具体的な運動を力強く展開することで、自らの意識を変革し、市民の意識を変革してまいります。「震災後」とよばれる新たな時代を築くために、私たち青年会議所メンバー一人ひとりこそが、時代の先頭に立ち、変化を創り出す「変わらないために変わる」行動を起こしていかなければならないのです。

志を同じくする宮津青年会議所の皆様におかれましては、「絆の力 ～想いをひとつに 誇れる宮津・与謝の創造!～」をスローガンに掲げられた山添宏明理事長の卓越したリーダーシップのもと、創始の精神と紡いできた歴史を継承し、地域における今、求められる時代の必要に対し、力強く応えられますことを心よりご期待申し上げます。

結びに、日本青年会議所は、これからもいつもLOMの隣で運動を推進してまいります。「凜然とした誇りある国」日本の創造に向けて、ともに歩み続けることをお約束し、また、貴青年会議所が地域において最も頼られ必要とされる青年の団体としてご活躍され続けることをご祈念申し上げ、創立45周年のお祝いのご挨拶とさせていただきます。

社団法人宮津青年会議所が山添宏明理事長の素晴らしいリーダーシップのもと、記念すべき45周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

さて、宮津JCは創設当初から続く創始の精神を今に受け継ぎ、今日まで故郷を愛する心と己を律した行動で、未来に誇れる明るく豊かな宮津を築くための運動を数多く展開されて参りました。歴史を紡いでこられた歴代理事長および先輩諸兄、並びに現役会員のご努力に心より敬意を表し、ご協力を賜りました全ての方や諸団体に感謝申し上げます。

周年とは、歴史を紐解くことでLOMの生い立ちや歩みを知り、地域社会の現状を分析し、自らの立ち位置を確認した上で「何が求められているのか」「何をしなければならないのか」を狙い定め、未来への確かな物語を描く機会です。自身が所属するJCという団体が何であるのかの根本を深く理解し、どのような思いで先達が青年の運動を継承されてきたのかを感じることは、未来を語る上において重要な要素です。

我が国は多くの困難を抱える中に加えて、大震災や原発事故が発生し未曾有の国難に直面しています。故郷を元気にすることの集大成でしか国の復興を成しえることはできず、地域で活躍するLOMの使命はこれまで以上に大きいのです。地域から最も信頼される唯一無二の青年団体であり続けるために、地域の他団体や住み暮らす人々と有機的な連携を構築し、さらには、安定的に維持発展する社会を築くためのキーパーソンとなり得るJAYCEEを育成していくことが必要です。

結びに、時代は変われども、今を憂い、未来を創る行動を興すのは青年の役割であり、成し遂げることは我々の責任であるのです。青年としての矜持を大切にしたい会員の更なるご活躍と、45周年という節目を経験された宮津JCの一層の発展を衷心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ご 祝 辞



公益社団法人日本青年会議所
近畿地区京都ブロック協議会
会長

広瀬 達也

スポンサーJC
(社)舞鶴青年会議所
理事長

堀口宏之



社団法人宮津青年会議所が、創立45周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。これまで京都ブロック協議会に対しましては、貴青年会議所から中核を担う多くのメンバーを輩出され、誇れる京都ブロック協議会の発展にご尽力された先輩諸兄、そして、現役メンバーに対し深く感謝申し上げます。

また、貴青年会議所におかれましては、創立以来、歴史や伝統を育まれ、地域の発展のために力強く活動してこられ、これまでの先輩諸兄から脈々と受け継がれてこられた情熱を絶やすことなく、不斷の努力でJC運動を築いて来られた輝かしい実績と歴史に敬意を表します。本年度は、山添理事長の下、「絆の力」～想いをひとつに誇れる宮津・与謝の創造！～のスローガンのもと、メンバー全員が固い絆によるひたむきな想いで、「明るい豊かな社会」の実現に向けて青年会議所運動に邁進されていることは、同志として心強い限りであります。

本年度京都ブロック協議会は、「誇れる京都の継承サステナブルな京都の実現」をスローガンに活動しております。「今の豊かさ」を守り、誇れる京都をさらに発展させるためには、人の繋がりや有機的に幾重にも結び合わせ、郷土を愛する気持ちを受け継ぎ一層育むことで、今以上に、安定的に維持・発展するサステナブルな京都の実現に向けて取り組んでおります。そして、次年度京都ブロック協議会会長には、宮津青年会議所から山添理事長という素晴らしいリーダーを輩出していただき、更なる京都ブロック協議会の発展を確信しております。

結びに、創立45周年を迎えられた社団法人宮津青年会議所の益々の発展と、次年度京都ブロック協議会の先導役としての活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

社団法人宮津青年会議所様が、本年創立45周年をお迎えになられましたことを心より御祝い申し上げます。

今日まで45年という長きに亘り、JC運動・JC活動を連綿と継続してこられたのも、地域市民、行政、関係諸団体並びに関係各位の皆様のご理解・ご支援の賜とスポンサーJCとして心から感謝申し上げますと共に、「宮津・与謝はひとつ」の理念のもと、1968年に発足されて以来、「明るい豊かな社会」の実現のために英知・勇氣・情熱をもって地域に根ざしたJC運動・JC活動を展開されてこられた社団法人宮津青年会議所の多くの諸先輩方をはじめ、全ての会員の皆様に深く敬意を表する次第で御座います。

近年の社団法人宮津青年会議所様の取り組みでは、天橋立という世界に誇る地域の資産を十分に活用され、宮津・与謝地区の多く地域の方々と共に考え、行動されるまちづくり事業の実施や、次代を担う青少年の健全育成に重きを置いた、その親世代も巻き込んでのひとづくり事業の実施など、しっかりと軸をおいた運動展開を会員一丸となって取り組んでこられました。宮津青年会議所様の様々な取り組みの中で、地域の方々の老若男女多くの笑顔を目にするにつけ、そのご活躍ぶり、地域社会への浸透の度合いは容易に拝察できるところであります。

私たち社団法人舞鶴青年会議所は、先輩諸兄が創立時にスポンサーJCを努めさせて頂いた縁を大切に、志を同じうする仲間として、社団法人宮津青年会議所様と今後も切磋琢磨をしながら、創始よりの友情を受け継いで参る所存です。社団法人宮津青年会議所の皆様が、創立50年という大きな節目、そして更なる高みに向けて、変わらぬ想いのもと絆を固めていただき、常に地域社会に必要とされる地域青年会議所として 今後、益々躍進されますことを心からご祈念申し上げ、御祝いの言葉とさせていただきます。

ご 祝 辞



姉妹JC
大松山国際青年商會
會長

王 有得

(台湾語)

欣逢宮津青年會議所45周年慶，本人謹代表大松山青商全體會友，獻上十二萬分的祝福。

這是個充滿光輝的時刻，也是充滿希望的日子，恭賀宮津青年會議所生日快樂。

青商的使命，在於每位分會成員，會長及前會長於年度內為青商會完成各項會務工作，讓每一屆的青商起跑。青商傳承不斷的運轉，猶如一場 " 接力賽 "，交棒的人完成各階段的任務，交出美麗的成果；接棒的人，肩負使命，努力向前衝，這正是青商的魅力所在。

宮津與大松山於1987年締盟，情誼延續至今實屬不易，每思及此對付出努力的前輩們都萬分感謝。兩會間情誼是宮津與大松山共同的寶貴資產，讓我們祝願宮津青年會議所與大松山青商會能延續過去的努力，與時俱進，一同進步，走向未來！

祝宮津青年會議所會務昌隆，慶典圓滿成功。

(日本語)

社団法人宮津青年会議所が45周年を迎えるにあたり、大松山青年会議所全てのメンバーを代表いたしまして心からの祝福を述べさせていただきます。

宮津青年会議所様は輝きと希望に満ちたこの時を迎えられました。本当に生誕周年おめでとうございます。

青年会議所の使命、それは毎年度、全てのメンバー、理事長、直前理事長が青年会議所のために全ての職務を全うし、一年ごとに青年会議所を進化させることです。青年会議所はリレーのように途切れることなく続いていきます。バトンを渡す人は様々な任務を成功させ、素晴らしい成果を生み出し、バトンを受け取る人は新たに使命を背負い、さらに運動を前進させる、これこそが青年会議所の魅力であります。

宮津と大松山は1987年に姉妹JCを締結しました。この友好関係を今日まで続けてきたことは容易なことではなく、この友好関係維持に御努力されてこられました先輩の皆様方に常に心より感謝しております。この2LOM間の友情は宮津と大松山が共有する貴重な宝でありますので、私たちは今までの努力を継続していくことを心から願い、共に未来へ向かって進んで参りましょう。

今後さらに続く宮津青年会議所の運動が益々発展し、円満に成功を収められますことをお祈り申し上げます。

[illegible]

45 年 間 の あ ゆ み





(スローガン)

途中修練、最後必勝

～我らの情熱でこの時代を打ち破ろう～

第41代理事長 加畑 輝行

【基本方針】 1.JCだからこそ、情熱をもって行動しよう 2.JCだからこそ、道徳心を大切にしよう 3.JCだからこそ、強い友情と絆を共有しよう

2009年度京都ブロック協議会 褒賞 グランプリ受賞 天橋立世界遺産登録推進運動

「HAND in HAND 天橋立」

～2008人でつなぐ天橋立～ 残そう! 未来の子どもたちへの贈り物

日 時:2008年6月21日(土)
場 所:天橋立松並木

2280名の皆様の想いが一つに!
「天橋立を世界遺産にする会」および「天橋立公園継承準備委員会」と共催事業として天橋立の世界遺産登録に向けて、また、地域を守り伝える大切さを育む運動として「HAND in HAND 天橋立」と題し、2008人で全長2.2キロに及ぶ天橋立を、参加者全員で手を繋いで結ぶ事業を宮津JCが中心となって企画しました。当日は目標である2008人の動員をはるかに上回る2280人の皆様にご来場いただき、天橋立を見事結ぶことが出来ました。また、御来賓として、山田啓二京都府知事、多賀久雄京都府議会議員、井上正嗣宮津市長、太田貴美と謝野町長、吉本秀樹伊根町長にご参加いただき、松の植樹をしていただきました。



「集え!若き経営者」～意識が変われば会社は変わる～



日 時:2008年5月12日(月)
場 所:みやづ歴史の館

若い世代の経営力向上に実績のある(社)水戸青年会議所OBの茨城県経営品質協議会代表、鬼澤慎人氏を講師にお招きし、「経営者とはどうあるべきか」について、業績が好調な企業の具体的な事例を交えながら講演いただきました。また、この事業はオープン事業とし、地域の他の青年団体の方にも多数ご参加いただきました。講演内容は、参加者に常に質問をしながら、聞くだけでなく参加する形式で、大変有意義な事業となりました。



「親子でパズルをときあかせ!」～みつけよう! 互いの想い～



日 時:2008年9月21日(日)
場 所:文珠・天橋立・府中周辺

「思いやりから信頼関係を育む」をコンセプトに、天橋立一帯をフィールドとしてウォークラリー形式の事業を行いました。親子で協力してクロスワードパズルを解いたり、日頃なかなか親子で話せないことをお互いに語る場をもうけたり、また移動手段として汽船やリフトを盛り込んだりと、楽しい設えとしました。参加者募集の告知をして数日で定員の140名に達するといううれしい出来事もあり、一市二町の小学校1～6年生の児童及び保護者の皆様にご参加をいただいて、充実した事業となりました。



「探そう地域の未来ビジョン」～気づき行動することの大切さ～



日 時:2008年4月17日(木)
場 所:みやづ歴史の館

この事業は、井上正嗣宮津市長と加畑輝行理事長の対談を企画。冒頭では、パワーポイントを使いこれまでの宮津JCの活動の紹介、運動指針の紹介、マニフェストサイクルの意義等を確認しました。対談では、主に天橋立の世界遺産登録推進運動、市民との協働運動、市長が掲げられたローカルマニフェストの進捗状況など、多彩な話題が繰り広げられ、大変有意義な事業となりました。



「ともに語り合おう! まちの未来」～若き力の政策討論会～



日 時:2008年10月16日(木)
場 所:府中の郷

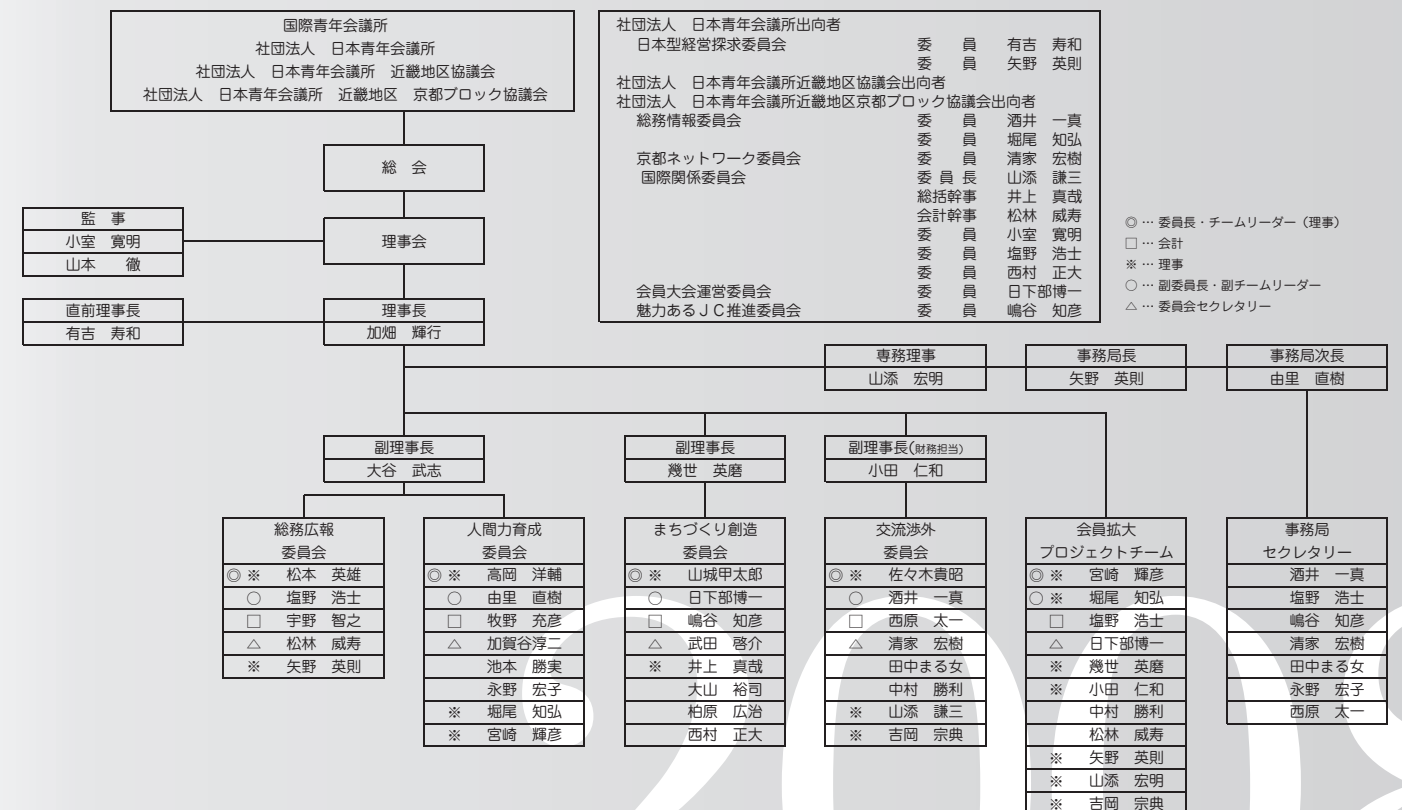
この事業は、1市2町より若手の市議会・町議会議員の皆様にご参加をいただき、宮津JCメンバーも交えて、架空の議案をもとに「賛成派」と「反対派」に分かれ、議論を展開するという設えといたしました。架空の議案とはいえ、我々の住むまちの未来に密接に関わる3議案で、議論は白熱し、本気の対話をする事が出来、参加者にとって大変有意義な事業となりました。



1月例会及び5月例会100%例会出席達成!



2008年度 (社)宮津青年会議所 組織図





(スローガン)

Challenge for Dream

～時代の本質を捉え、「輝く未来」へ踏み出そう～

第42代理事長 幾世英磨

【基本方針】 1.物事の本質を捉え行動しよう 2.常に高い志を持って行動しよう 3.組織の強化、活性化に努めよう

2010年度公益社団法人日本青年会議所 AWARDS JAPAN2010 地域のたから発掘部門 優秀賞・2010年度京都ブロック協議会 褒賞 グランプリ受賞 天橋立世界遺産登録推進運動

「目指せ世界遺産!天橋立を世界へ!宮津・与謝ふるさと絵巻」

～知れば知るほど好きになる!地域の宝がここにある～

日時:2009年6月7日(日)
場所:京都府立丹後郷土資料館前広場及び旧長島家
主催:(社)宮津青年会議所、天橋立を世界遺産にする会

天橋立を世界遺産にする会との共催事業である、宮津・与謝ふるさと絵巻が京都府立丹後郷土資料館前広場及び旧長島家で開催されました。当日の天気はやや悪く小雨が時々降る中での開催でしたが、約500名もの来場者があり、郷土料理の「だいごめし」や郷土芸能の「太刀振り」、そしてメインであるこのまちの民話や神話をまとめた絵本の上映会を楽しんでいただきました。絵本の上映会をするにあたって地域の小学生にナレーションをお願いし、絵本の挿絵を巨大スクリーンに映しながら音読していただきました。地域の宝を知り、郷土を愛する心を育む事業となりました。



「大人のハートに元気玉」～大人が変われば子どもも変わる 輝け!子どもの夢と可能性～



日時:2009年5月28日(木)
場所:与謝野町立生涯学習センター知遊館

講師にドラゴンボールの脚本家である小山高生氏をお招きして講演会を開催させていただきました。自称「アジア最大の脚本家」といわれるのは身長が194cmあるからなどジョークを交えながら、子どもに道徳心を伝えるにはまず大人がかわることが大切であること、可能性を引き出すために大人がすべき事などを伝えていただき、私たち大人に向けて「元気玉」のタネをまいていただきました。

「ローカルマニフェスト検証大会」 ～さあ、このまちの未来をみんなで創っていこう!～



100%例会達成(8月例会)

「JCあきんど塾」 ～未来を拓くために、志向力を磨く～



2010年度公益社団法人日本青年会議所 AWARDS JAPAN2010 青少年部門 第3位

「親子DE挑め!天橋立フィールドBINGO」

～やってみよう知恵と工夫 気づこう無限の可能性～

日時:2009年10月11日(日)
場所:天橋立公園周辺及びビューランド

晴天に恵まれた中、天橋立を舞台に「親子DE挑め!天橋立フィールドBINGO」という親子参加型の事業を開催させていただきました。橋立のフィールドに隠されたビンゴの数字のシールを探しながら、「運ぶ」「測る」「作る」「伝える」の4つのエリアを親子で知恵をしぼってクリアしていくことで、あきらめず工夫していけば何事も達成するということを学んでいただきました。お昼からは場所を橋立ビューランドに移し、与謝野町出身でプロ野球選手の日本ハムファイターズ糸井選手のビデオメッセージを見ていただき、子どもたちの無限の可能性に気づいてもらったうえで改めて夢を書いていたきました。そしてその夢を展望台から天橋立の松並木に向かって叫んでいただき、子どもたちの夢への一歩となりました。



「“仕事力”向上セミナー」

～今こそ、一足先を見据える「タイムマネジメント」を徹底しよう!!～

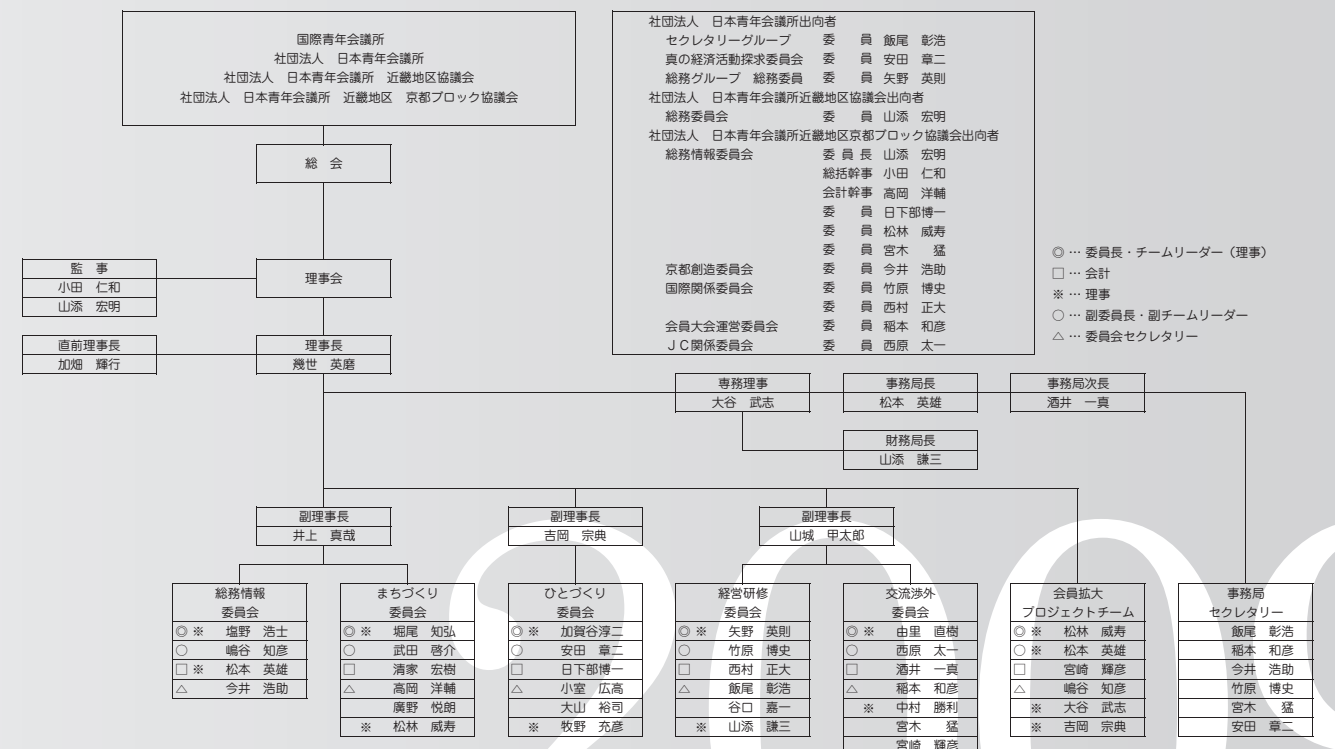


日時:2009年11月25日(水)
場所:みやづ歴史の館

株式会社原田教育研究所 代表取締役社長 原田隆史氏を講師にお招きしご講義いただきました。原田先生の20年間大阪の中学校に勤務されたご経験談をもとに、ご自身が生徒と向き合われた事例を交えて、わかりやすく、面白くそしてポイントをおさえながら講義いただきました。



2009年度 (社)宮津青年会議所 組織図





(スローガン)

『改進黨』天橋義塾の精神 ～強き心を持って新たなる時代へ～

第43代理事長 井上 真哉

【基本方針】 1. 強き心をもって理想のまちを掲げよう 2. 強き心をもって挑戦しよう 3. 強き心を育もう

天橋立世界遺産登録推進運動

「LOVERS Project 2010」

～絶対に伝えたい魅力が天橋立(ここ)にある～

日時:2010年7月30日(金)
場所:ホテル北野屋
ハーモニーホール

宮津高校、海洋高校、加悦谷高校に出前講座として訪問し、近年宮津JCの行った天橋立世界遺産登録推進運動を用いて天橋立の魅力が高校生に伝え、本年度のまちづくり事業にご賛同頂ける学生を募りました。そして3校の学生より集まった有志により数回の学生会議を開催し、1つのシンボルマークを作り上げ、行政関係者並びに関係各諸団体の皆様をお招きし、発表会をしました。発表会では、学校ごとに天橋立の良い所悪い所等それぞれ発表しました。シンボルマークのデザインは、天橋立の海や砂浜、松並木を表現したものになりました。



「スーパーKid's ハーモニー」

～成功体験からはじめよう! 夢への第一歩～



日時:2010年10月23日(土)
場所:野田川わくばる

宮津与謝地域の小学生を集めて合唱団を結成し、発表会に向けた練習を7月より毎週日曜全11回にわたり実施しました。また、夏休みには子供たちが1日を使って発表会に使用する看板や招待状を作成し、お昼ごはんをみんなで作って食べたりするなど、共に友情を育みました。そして、青少年事業「スーパーKid's ハーモニー」発表会を開催しました。一生懸命練習し、歌う楽しさに触れ、豊かで強い心を育んだ子ども達が、ホールを埋める満員の観客の前に、堂々とその歌声を披露しました。当日の会場は心を込めて歌う子供たちと観客の笑顔に包まれ、充実感あふれる発表会となりました。その後、宮津キッズハーモニーが結成され、活動されています。子どもたちに歌うことを通し、友情と豊かで強い心を育む環境をつくる事業となりました。

「WORK with LIFE, 新流儀! (ニュースタイル)」

～目の前にある魅力で あなたの仕事をデザインする～

日時:2010年9月16日(木)
場所:みやつ歴史の館

新しい地域経済の活性化の考え方を提案する事業を行いました。講演では、JCメンバーが講師となり、「あなたの仕事×地域の魅力=無限の可能性」という方程式をキーワードにして、プレーンストミングを用いた新しい商品開発の考えによる地域活性化を発信しました。この地域の明るい未来を考える心地よい緊張感のある講演会となりました。



「相知相逢」～もっと知ろう相手のことを～

日時:2010年3月4日(木)
場所:みやつ歴史の館

姉妹JCである台湾大松山国際青年商會への公式訪問の前に、台湾の歴史や文化、そして大松山JCとの交流の歴史や意義を皆で勉強しました。今回の勉強会を通じて各々が改めて国際交流の大切さや意義を学ぶことが出来ました。



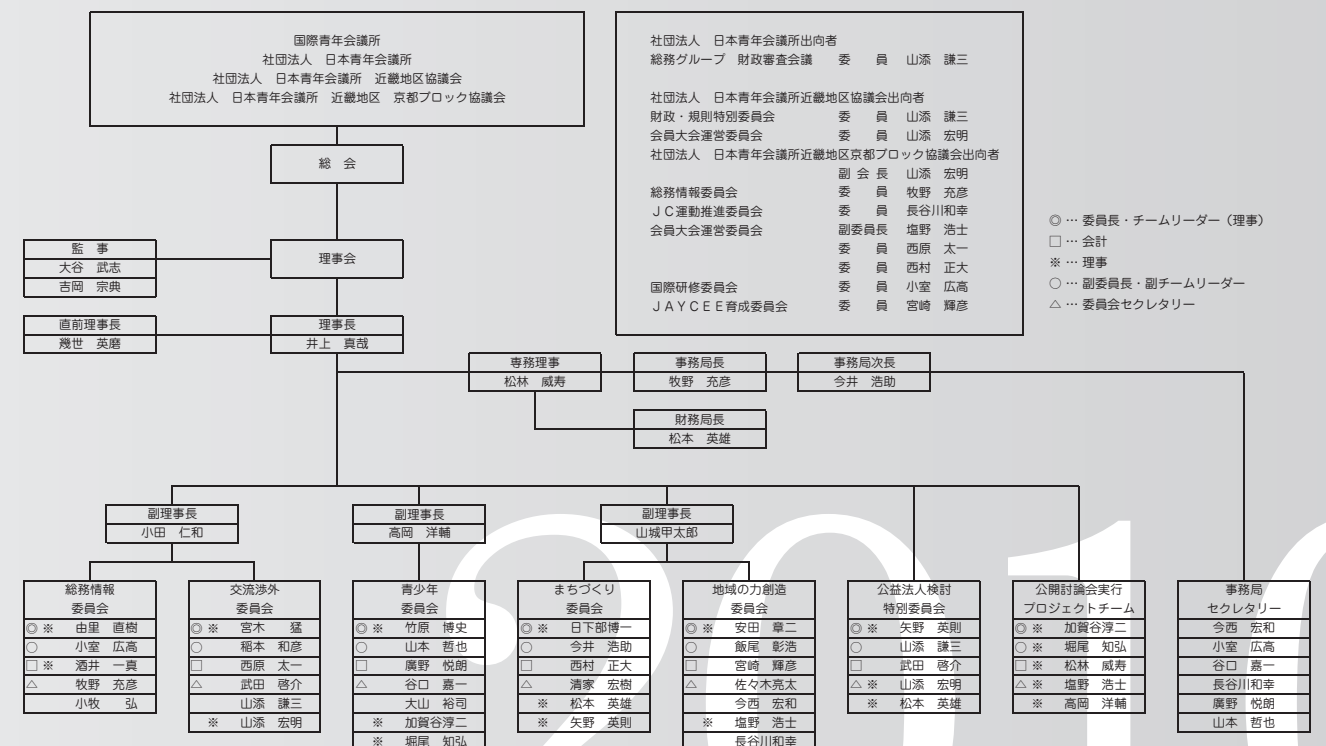
公益法人セミナー

日時:2010年4月15日(木)
場所:加悦保健センター
・与謝野町立農村環境改善センター(元気館)

公益法人制度改革を見据えた勉強会を開催し、一般社団法人と公益社団法人の違いなど、参加メンバーとの活発な意見交換が行われました。



2010年度 (社)宮津青年会議所 組織図





(スローガン)

魅力親和

己を信じ「進化」というバトンを持って！

第44代理事長 吉岡 宗典

【基本方針】 1.「魅力ある人」になろう 2.「魅力ある団体」に成長しよう 3.「魅力あるまち」を提案しよう

天橋立世界遺産登録推進運動

「宝探しアドベンチャー天橋立」～身近に感じよう地域のたからもの～

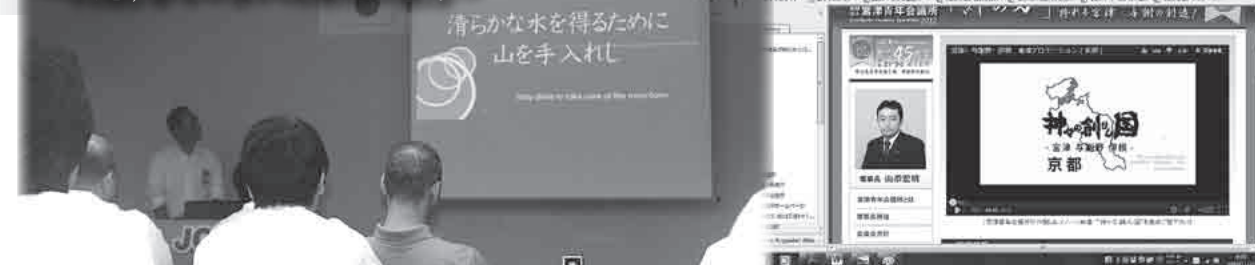
日 時:2011年10月30日(日)
場 所:天橋立松並木

宮津・与謝地域の親子の132名の親子の方にご参加いただき、天橋立松並木内にある松や砂浜、名所などに直接触れ、楽しみながら天橋立を感じていただける宝探しゲームをしました。その後、写真パネルを使って天橋立の松や砂浜が、自然の力だけで成り立っていないこと、そこには必ず人の手が加わっていることを伝え、みんなの手で守っていこうという思いを込めて、天橋立を手形で表現したイラストを制作しました。そして、その手形イラストを路線バス3台にラッピング加工し、1年間丹後地域を走らせる事業をしました。この事業を通して、子どもから大人までの様々な世代に向け、地域の象徴である天橋立を身近に感じ、守り伝えようという思いを醸成し、ラッピングバスを走らせることにより天橋立世界遺産登録推進運動の気運を高める事業となりました。



「ONE PIECE プロジェクト」

～共感、心でつむいだ地域の魅力～



日 時:2011年9月15日(木)
場 所:与謝野町立生涯学習センター知遊館

地域活性化事業として、宮津市・伊根町・与謝野町の各関係機関の皆さんをお招きし、先進事例である由布院を参考に日常観光型まちづくりへの方向性を提案しました。そして、ひとつの地域特性イメージを地域の皆さんが意識を共有する必要があることを説明し、宮津・与謝地域の共有できるイメージ映像として、「神々の創りし国」を作成し、披露しました。

その後、新聞紙面や地域広報誌にも掲載され、そのイメージ映像がイベント等で使用されたり、地域内事業者やNPO法人からの映像の提供依頼があるなど、実際の映像の活用と伝播につながっており、今後の地域内への意識の共有に向けた一歩が踏み出せた事業となりました。



「なるほどなっとく! まちの政治」

～みんなで描こうまちの未来!～

日 時:2011年6月24日(金)
場 所:与謝野町立生涯学習センター知遊館

自分たちの生活に関わる政治について、その仕組みをより理解していただける事業を開催しました。

まちの政治、特に議会に焦点を当て、落語家 桂福国治さんに政治の仕組みを笑いを加えながら解りやすく説明して頂きました。

そして、宮津市・伊根町・与謝野町の議員さんをお招きし、パネルディスカッションで今の政治や今後の方向性を話して頂きました。ご参加いただいた皆様には、少しでもまちの政治を理解していただけた事業となりました。



第39回京都ブロック会員大会 宮津大会

日 時:2011年5月22日(日)
場 所:宮津会館、元伊勢一宮籠神社

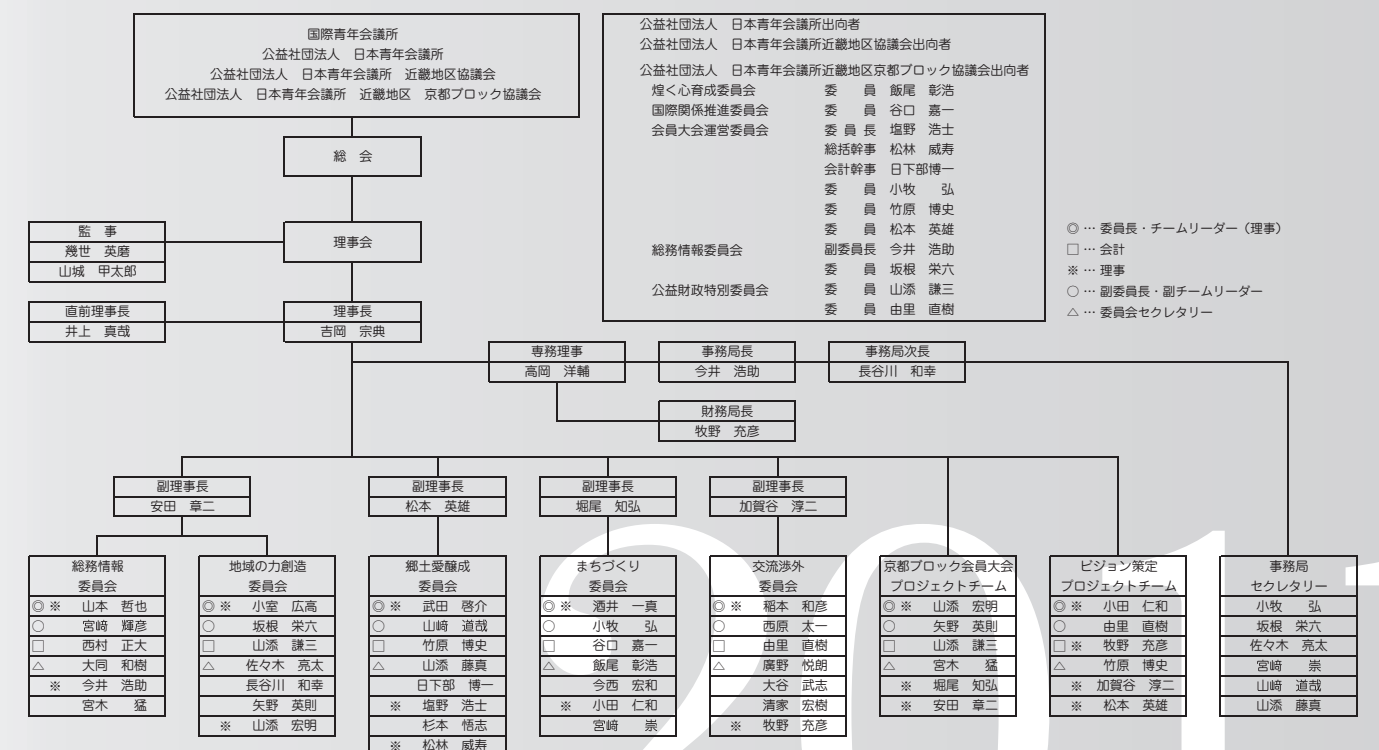
13年に一度の宮津大会を京都ブロック協議会主催のもと、宮津青年会議所主管として「郷土愛～誇りを胸に共に育む煌めく京都～」をテーマに開催いたしました。

宮津会館では式典・フォーラムが行われ、安倍晋三氏に「誇れますか?あなたのまち」というテーマでご講演・パネルディスカッションをして頂き、宮津与謝の取り組みをお話して頂きながら、郷土愛を発信できたと思います。

また会場を元伊勢一宮籠神社様にご協力頂き、風土祭(フードフェスタ)を開催しました。宮津与謝の食を広めるとともに、地元の方々にも郷土の素晴らしさを感じて頂けたと思っております。



2011年度 (社)宮津青年会議所 組織図





(スローガン)

『絆の力』

～想いをひとつに 誇れる宮津・与謝の創造！～

第45代理事長 山添 宏明

- 【基本方針】
1. ひとむきな想いで団体運営に挑戦し続けよう
 2. ひとむきな想いで交流活動に挑戦し続けよう
 3. ひとむきな想いでひとづくりに挑戦し続けよう
 4. ひとむきな想いでまちづくりに挑戦し続けよう
 5. ひとむきな想いで組織づくりに挑戦し続けよう

「まちづくり寺子屋」～数字で見るわがまち～

日 時：2012年4月19日(木)
場 所：与謝野町立生涯学習センター知遊館

自分たちのまちの現状を理解し、当事者意識を持つことを目的とした事業を開催しました。宮津市と与謝野町の職員さんによる自分たちのまちの現状を説明していただいたあと、グループに分かれ、人口推計や財政状況を鑑み、この先の地域の将来について幅広くディスカッションをしました。その中では、人口減少に歯止めをかけるために単身者に課税をといった意見も出て、若者ならではの発想で意識を共有しあえました。



議員懇談会「まちづくり作戦会議」～10年後を考えて、今、話し始めよう～

(宮津市議会)
日 時：2012年 8月27日(月)
場 所：みやつ歴史の館

(与謝野町議会)
日 時：2012年 9月5日(水)
場 所：野田川わーくばる

宮津市議会と与謝野町議会の議員有志の皆様と議員懇談会を開催しました。まちづくり作戦会議と題し、自分たちの地域の今後をどうあるべきかなど議員の皆様と意見交換しました。懇談会では、「希望が持てる社会であるかどうか、この地域に住んで子供を育て生計が立てられるかどうか、独身者が多い、結婚だ。」「丹後一体となり地域活性化を考えるべきであり、情報発信を高めること、全員が着物を着ているまちにする。」といった意見が出たりと両議会の皆様との意義のある交流の場となりました。



JC青経塾 ～8つの満足で、あなたが、そして、あなたの企業が変わる～

日 時：2012年11月16日(金)
場 所：与謝野町立生涯学習センター知遊館

公益社団法人日本青年会議所地域グループ企業未来デザイン委員会の皆様をお招きし、公益社団法人日本青年会議所のプログラムを用い、これからの企業の環境づくり、リーダーの育成等、地域から必要とされる力強い企業経営の確立にむけた研修事業を行いました。宮津JCメンバーの他、地域青年経済人の方々と共に、プログラムに則り、自分の仕事に照らし合わせ、8つの満足をリーダーチャートに表したり、実践シートを発表・ディスカッションをしました。企業は、経営者の器以上には大きくならないという言葉のとおり、経営者が地域から必要とされる企業づくりの基礎「8つの満足」を理解し行動することで、時代を切り拓く企業となり、自分たちの地域を良くすることが出来ることを学びました。



創立45周年記念式典・懇親会

日 時：2012年 6月 3日(日)
場 所：天橋立宮津ロイヤルホテル

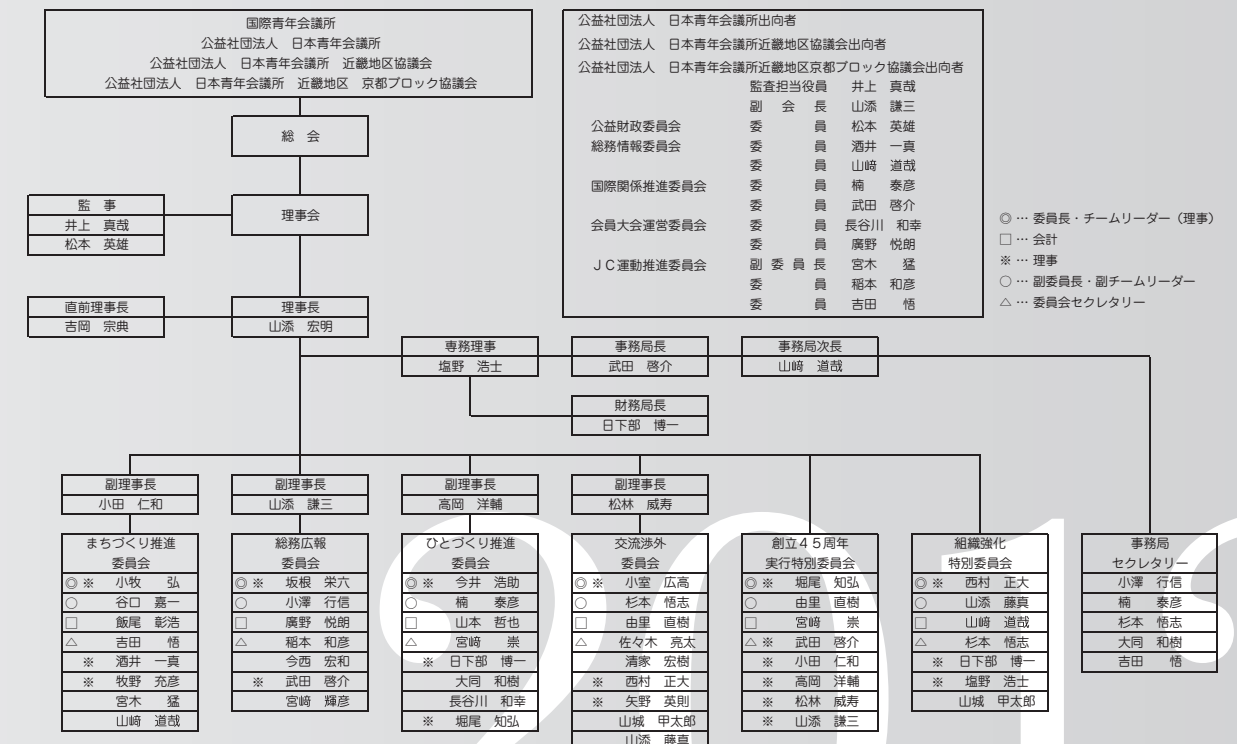
(社)宮津青年会議所創立45周年スローガン“carpe diem”～今を生き今を楽しめ明日のために～と題し、記念式典・懇親会を開催しました。式典では、行政関係機関の皆様をはじめ歴代理事長並びにJC関係者など大変多くの方にご参加いただきました。また、スポンサーJCである(社)舞鶴青年会議所へ感謝状の贈呈や宮津JCの50周年にむけての活動方針を披露しました。

懇親会では、台湾大松山の子どもたちと宮津・与謝の子どもたちの絵画交流事業の絵画表彰や宮津青年会議所の2010年度事業から派生した宮津キッズハーモニーの皆さんの歌声の披露、そして大松山メンバーからの東日本大震災の復興祈願の寄せ書きの披露やマグロの解体ショーを行い、盛況な懇親会となりました。

絆の力を深めることができた素晴らしい記念式典・懇親会でした。



2012年度 (社)宮津青年会議所 組織図



創立45周年記念事業

「Tangoちりめん劇場」

～今日から地域が好きになる～ ひとづくり推進委員長 今井 浩助



日時：2012年 8月19日(日)
場所：岩滝ふれあいセンター

この事業は、地域の宝である丹後ちりめんの歴史を演劇とクイズで学び、それらの想いを表現したオリジナルかるたを使って遊んで頂くことで、楽しみながら知識として残るように、また、事業後にも友人や家族と遊んでいたたり、将来改めてかるたを見ることで地元を思い出し、自らも地域の魅力を発信できる語り手として成長するきっかけづくりをするものです。

事業当日は、宮津・与謝の親子122名のご参加をいただき、マザーグースの会の語り部の皆さんとJCメンバーによる演劇で丹後ちりめんの歴史を学びながら楽しみました。その後のオリジナルかるたを使ってのかるた大会では、子供たちが真剣にかるたとりをしてる姿が印象的でした。



参加費無料

平成24年 8/19 (日)

対象3宮津与謝の小学生

※必ず保護者と一緒に参加してください。

開場 13:30 開演 14:00 閉演 14:45

会場 岩滝ふれあいセンター

お問い合わせ 0925-22-1111

主催：宮津青年会議所

担当：ひとづくり推進委員会

天橋立世界遺産登録推進運動

創立45周年記念事業

「一期一絵」

～ひと筆に想いを込めて～



まちづくり推進委員長 小牧 弘

日時：2012年10月21日(日)

場所：(晴天時) 天橋立松並木 (雨天時) みやづ歴史の館 文化ホール

開会：13時00分 閉会：15時15分

主催：宮津青年会議所 創立45周年記念事業

協賛：天橋立世界遺産登録推進運動

お問い合わせ 0925-22-1111

日時：2012年 10月21日(日)
場所：天橋立松並木

この事業は、国宝としても知られる天橋立図の巨大模写絵を作成することで、日常の中で天橋立の価値を再考する機会をつくり、かつ、天橋立を大切に護り伝えていこうという世界遺産登録推進運動の波及につながることを目的としています。

事業当日は、巨大模写絵のパネルを18のパーツに分け、あらかじめ薄く下絵が描いてある各パーツに約150名の参加者一人一人が筆を入れました。

そして、この世界遺産登録に向けた皆さんの想いの寄せ書きともいえる巨大模写絵のパネルを看板化し、パーキングはままちに大きく掲示、世界遺産登録推進運動のPRとしました。



継続事業 — 国際交流事業 —

姉妹JC台湾大松山国際青年商會

【公式訪問】

2008



2009



2010



2011



2012



【絵画交流事業】

2008



2009



2010



2011



2012



その他の活動

クリーンはしだて1人1坪大作戦



迎春天橋立一斉清掃



由良川てんころ舟
レースに参加



近畿地区
野球大会に参加



JCカップ
(2010年度宮津与謝サッカー協会に移管)



みやづキャッスルハッスル
に参加



天橋立を世界遺産にする会シンポジウム

特別対談

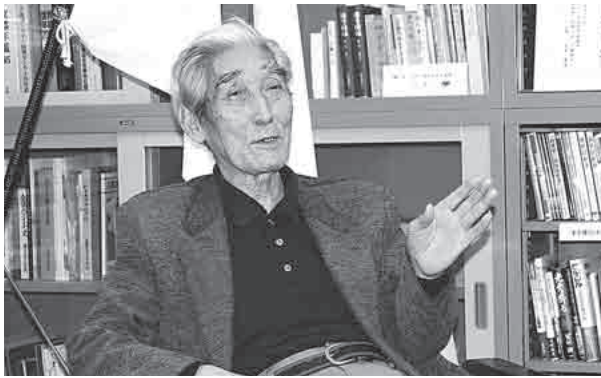
第2代理事長

平井浩治郎先輩

第45代理事長

山添 宏明

～ 今伝えたい創始の想い ～



創立の経緯について

山添 本日はどうぞ宜しくお願い致します。早速ですが、平井先輩は第2代理事長で設立当時のチャーターメンバーとして大変ご尽力をいただいたわけですが、この宮津青年会議所を立ち上げるにあたって改めて当時の想いなどを聞かせていただければと思います。はじめに設立当初はどのような動きがあったのでしょうか。

平井 設立当時、宮津には45歳以下の若者の集まりで宮津青年委員会があり私もその団体に入会しておりました。その頃、舞鶴JCの方から青年会議所をつくってほしいかと打診があり、この場所（現在の宮津商工会議所）の応接間でお会いしました。当時は説明されても私たちは実際にはどのようなものかということが全くわかりませんでした。また、宮津には青年委員会があるとの理由でお断りしていました。色々話を聞くうちに、ではメンバーを集めて聞いてみようということになり、現在の金下歯科さんの場所に以前にあった集会所の2階で発起人会を開きました。

仮の青年会議所

山添 平井 発起人となるメンバーは何名くらいでしたか？

11か12名だったと思います。発起人会のメンバーで相談した結果、井の中の蛙でいけない、だから活動エリアも一市四町にして一度井戸の中から飛び出してみようじゃないかということで話がつきました。それから会費を集めてこの年の7月14日に全員に集ってもらい青年会議所の設立総会と発会式を天橋立ホテルで行いました。その時の入会者は50名でした。

山添 平井 50名ですか？多いですね。その後認証伝達式までに集まったのが55名でこのメ



ンバーがチャーターメンバーです。その後5名が入会され60名となりました。

同士が増えていったわけですね。

宮津青年会議所は1968年12月14日に認証をいただきました。ちなみに初代の理事長は17日間の任期でした。

とても短い任期ですね。

理事長については翌年も初代の理事長である永井くんが続けると思っていました。しかし永井くんより第2代の理事長は平井くんであると告げられ、驚きましたね。今でもあれは永井くんの裏工作があったのだろうと思っています。やりたくなかったのか、もしくは認証伝達式の実行委員長をやろうと思っていたのかもしれませんね。

手続きでご苦労はなかったですか。

12月14日に書類を提出したわけですが、少しでも間違いがあると大変だということで、数名が東京に行っていました。そこで、メンバー全員の学歴を記入するところで記入漏れがあったんです。急いで夜中に電話をかけて確認したのを覚えてます。

全員ですか？

ええ、それでやっと入会することが出来て本当に大変でした。

認証伝達式は翌年1969年の5月3日でした。設立から一年ほどかかっていたわけですか。

認証伝達式が終わるまでは仮宮津青年会議所と言われました。認められていない訳だから。京都、滋賀、奈良などの色々な会議に出席した際にも「仮の青年会議所」と言われるのが嫌でした。だから本当に物凄く勉強しました。

認証伝達式までにどのようなご苦労がありましたか。

やはりやりかけたからには先頭に立ってやらなければならなかったので滋賀県の高島JC、大阪の柏原JCの認証伝達式を視察に行きました。戻ってからは認証伝達式の委員長、副委員長、委員を任命してとにかく半年間は仕事もせずにJC活動ばかりしていました。

理事長、直前理事長をして卒業

山添 平井 山添 設立総会、認証伝達式と続き、まさに激動の2年間だったということです。

理事長、直前理事長をして卒業しました。青年会議所を短命で出入りしたのは私くらいですかね。

先ほど設立時に50名集められたとおっしゃってられました。当時は全国で順番にJCが設置されていていような時代でJCに勧誘してもJCが何なのか

分からない方が沢山おられたと思うのですが、どのような方法で勧誘されておられたのですか？

平井 地元の人が地元の人を呼んでくるような勧誘方法でした。徐々にメンバーが増えていき、100名を超えたころには全員の名前を覚えるのは大変でしたね。

活性化というのは人口が増えていくこと

山添 平井 最近の宮津JCの活動に何か感じられることはありませんか？

今やろうとしていることであればそれでいいのではないかと思います。ただ思うのは不景気の影響で宮津青年会議所だけではなく様々な団体のメンバー数が全国的に激減しているのが気になっています。このような状態でどんな活動をやっていけばいいのか分からなくなっているのではないのでしょうか。

山添 平井 何をやるかということもありますし、今後はだんだん何が出来るかという状況にも変わっていくと思います。私も市役所や近所の方々と宮津も活性化しなければいけないなどとお話するのですが、皆、活性化というのがどのようなことか分からなくなってきました。私は活性化というのは人口が増えていくことではないかと思っています。昔は宮津市の人口が38,000人だったのが今では半分の18,000人にまで減っていますが、人口が減ったのは活性化は有り得ないのではないのでしょうか。今の宮津市には活性化の兆しがない、その中で宮津青年会議所は何をしていくべきなのか考えていくべきであり、単独事業をやるのか、継続事業をやるのかのどちらかだと思います。私は子どもが本当に参加したいと思うような継続事業をやっていくのがいいのではないだろうかと思っています。

山添 昔は宮津青年会議所が実行委員会という形で他の団体を巻き込んでちびっ子祭りという継続事業がありましたよね。比較的、日本青年会議所は継続事業を重視する方向になってきていますので先輩がおっしゃられたような考え方です。やはり公益的に色々な方に参加していただけるような事業を企画しないと自己満足で終わってしまい、JCそのものが認知していただけないのかなと思っています。

平井 子どもたちが親を引っ張っていき本当に楽しめるような内容の事業を考えてほしいですね。そうするとJCの地域への認知度も高まると思います。

山添 平井 JCとはどうあるべきだと思いますか？

今やっていることは悪いことではないし私はいいと思います。別段変えなければいけない悪い種があるわけではないですからね。強いて言うならば会員数の増強ですかね。

山添 今現在、京都府内には13の青年会議所がありますが会員数では宮津青年会議所が府内で4番目で、現在は43名です。府内全域でも昔は1,000名ほどおられた会員数も今は500人くらいに会員数が激減し、LOM自体での活動も困難な青年会議所もあるなど大変厳しい状況にあります。宮津JCは人数は多い方ですけれども例会や事業への出席率などが下がってきています。

平井 やはり人数が多くなると会自体の維持が困難になってきますよね。

そうですね、人数が少なくて事務員さんがおられないLOMもあります。

まだ宮津JCは会員拡大を頑張っているほうですか？

そうですね、まだ京都府内では頑張っている傾向にありますが決していい状況ではありませんね。会員拡大は大きなテーマではありますが、先ほどのお話にもありましたように人口減少が原因で対象者も減少してきております。

平井 先ほど話しましたが、やはり人口が増えたと会社の



2代目、3代目の若者もこのまに残ってくれると思います。人口の減少は悪い方向にばかりいってしまっていますね。

山添 人口の話が沢山出てきましたけれども、この宮津与謝地域の今後の未来を見た展望を考えるとやはり人口問題というのは宮津に限らず全国的に抱えている問題ですよ。その中でも私たちを含めた地元の企業であったり、ここで暮らす私たちが元気であるということが大きなエネルギーという要因かなと思っています。やはり企業誘致というのが大きな問題となってきますね。宮津市としても企業誘致の話は何社かあったとは聞きましたが、市の援助や立地条件などの課題があり誘致までは至らなかったみたいです。

世界遺産登録推進運動について

山添 宮津与謝地域にとって貴重な宝である天橋立を世界遺産に登録しようと地域をあげて、また宮津青年会議所でも世界遺産登録推進運動として天橋立を世界遺産にする会と共催で重点的に取り組んでいます。活動としては年に2回同じ内容ではなく毎年違った内容で事業を行い、2008年にはHAND in HAND天橋立としまして2200名ほど集ってもらい京都ブロック協議会の褒賞のグランプリをいただきました。また翌年は宮津与謝ふるさと絵巻という宮津与謝地域の昔話を題材にした絵本を作成し、それを発信していくという事業を開催させていただき、こちらも京都ブロックの褒賞、また日本青年会議所の褒賞の地域の宝発掘部門で優秀賞をいただきました。その後も世界遺産登録に向けた活動を継続しており地域に根ざした、地域の方に想いを伝えるような事業をさせていただいております。このような活動をしている宮津青年会議所に対して思われることがあればお聞かせください。

平井 宮津市が中心となってやっていかなければならない活動でもあり、また地域の方々の想いがそうあるべきではないといけないと思うのですが、住民全体にそういう想いが浸透していないように見えます。

山添 宮津市、与謝野町、伊根町の住民の方々のほとんどがこのような活動をしているのはご存知だとは思いますが、平井先輩がおっしゃられたようにどこか人ごとであり関係がないと思っておられる方もあります。本当は地域全体でやらなければならないはずなのですが、さらに機運を高めることが必要であると感じられます。先ほどもありましたが人口減少、流出もある中で活性化するための起爆剤と考えられるのは限りなくこの天橋立世界遺産登録運動ではないかと私は思います。地域が一体となるためにも宮津青年会議所として住民の方々の意識改革を訴えていきたいと思っています。

平井 やはり世界遺産に認定する方々が宮津を見て活発に取り組んでいるなと思わせるようなまちでなければ駄目ですね。

山添 本日はお忙しい中本当にありがとうございました。

メンバー紹介

 理事長 山添 宏明 座右の銘 『今を真剣に生きる』 勤務先: ㈱山添電気 生年月日: 1974年8月生	 直前理事長 吉岡 宗典 座右の銘 『魅力親和』 勤務先: 吉岡登記測量事務所 生年月日: 1973年9月生
 副理事長 小田 仁和 座右の銘 『合縁奇縁』 勤務先: ㈱松和物産 生年月日: 1973年12月生	 副理事長 山添 謙三 座右の銘 『小人閑居して不善を為す』 勤務先: 山添税理士事務所 生年月日: 1972年7月生
 副理事長 高岡 洋輔 座右の銘 『未来志向』 勤務先: ㈱高岡建材 生年月日: 1975年7月生	 副理事長 松林 威寿 座右の銘 『日々進化! 今日より明日、成長することを信じる!』 勤務先: ㈱松林 生年月日: 1977年8月生
 専務理事 塩野 浩士 座右の銘 『素直に生きる』 勤務先: ㈱シオノ鑄工 生年月日: 1975年7月生	 監事 井上 真哉 座右の銘 『明珠在掌 (みようじゅたなごころにあり)』 勤務先: ZAG空間設計舎 生年月日: 1972年4月生
 監事 松本 英雄 座右の銘 『宝は足下にある』 勤務先: 小林美工社 生年月日: 1974年2月生	 まちづくり推進委員会 委員 酒井 一真 座右の銘 『楽しく生きていきたいものです』 勤務先: 東朋(株) 生年月日: 1978年1月生
 まちづくり推進委員会 委員長 小牧 弘 座右の銘 『百聞は一見に如かず』 勤務先: 小牧合同事務所 生年月日: 1973年12月生	 まちづくり推進委員会 委員 牧野 充彦 座右の銘 『感謝』 勤務先: 牧野建設(株) 生年月日: 1974年10月生
 まちづくり推進委員会 副委員長 谷口 嘉一 座右の銘 『一期一会』 勤務先: ㈱谷口商店 生年月日: 1975年12月生	 まちづくり推進委員会 委員 宮木 猛 座右の銘 『人生なんとかなるはずだ!』 勤務先: 食堂・旅館 大江山 生年月日: 1974年5月生
 まちづくり推進委員会 委員 飯尾 彰浩 座右の銘 『富士酢』 勤務先: ㈱飯尾醸造 生年月日: 1975年7月生	 まちづくり推進委員会 委員 山崎 道哉 座右の銘 『人生情性』 勤務先: 山崎電気(株) 生年月日: 1983年5月生

 まちづくり推進委員会 委員 吉田 悟 座右の銘 『一生懸命』 勤務先: 吉田設計 生年月日: 1979年12月生	 まちづくり推進委員会 委員 関野 祐 座右の銘 『人生に偶然はない』 勤務先: ㈱損害保険ジャパン 生年月日: 1988年1月生
 総務広報委員会 委員長 坂根 栄六 座右の銘 『報恩感謝・文武両道』 勤務先: 宮津市議会議員 生年月日: 1978年2月生	 総務広報委員会 委員 稲本 和彦 座右の銘 『七転八倒』 勤務先: 稲本左官 生年月日: 1976年1月生
 総務広報委員会 副委員長 小澤 行信 座右の銘 『なせば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり』 勤務先: 宗教法人江西寺 生年月日: 1974年10月生	 総務広報委員会 委員 今西 宏和 座右の銘 『常に楽しく』 勤務先: 麵家 チャクリキ 生年月日: 1978年11月生
 総務広報委員会 委員 廣野 悦朗 座右の銘 『自分で努力して耕した畑でなければ、自分に合った人材は集められない』 勤務先: 明田屋造園 生年月日: 1977年4月生	 総務広報委員会 委員 武田 啓介 座右の銘 『全力投球!』 勤務先: ㈱興楽 生年月日: 1982年2月生
 ひとづくり推進委員会 委員長 今井 浩助 座右の銘 『心腹の友をつくる』 勤務先: 今井織物(株) 生年月日: 1982年3月生	 総務広報委員会 委員 宮崎 輝彦 座右の銘 『遊び心』 勤務先: 宮眞(株) 生年月日: 1974年7月生
 ひとづくり推進委員会 副委員長 楠 泰彦 座右の銘 『努力に勝る天才なし』 勤務先: クスカ(株) 生年月日: 1976年12月生	 ひとづくり推進委員会 委員 大同 和樹 座右の銘 『一生懸命』 勤務先: ㈱木下建窓 生年月日: 1979年4月生
 ひとづくり推進委員会 委員 山本 哲也 座右の銘 『明日は明日の風が吹く』 勤務先: 山本工務店 生年月日: 1974年5月生	 ひとづくり推進委員会 委員 長谷川 和幸 座右の銘 『闘魂注入』 勤務先: 長谷川瓦店 生年月日: 1977年3月生
 ひとづくり推進委員会 委員 宮崎 崇 座右の銘 『継続は力なり』 勤務先: フローリストポポ 生年月日: 1972年6月生	 ひとづくり推進委員会 委員 堀尾 知弘 座右の銘 『至誠を尽くす』 勤務先: ㈱堀尾デンキ 生年月日: 1978年1月生

編集後記

本年度、（社）宮津青年会議所は創立45周年を無事迎えることができました。これも偏に関係諸団体の皆様、地域の皆様のご協力とご理解の賜物と深く感謝しております。

この記念誌を発刊するにあたり、第2代理事長平井先輩から設立当初のお話であったり、これまでの歴史や近年5年間の活動などを振り返ることで、創始の想いは絶えず受け継がれていることへの自信と誇りを持ち、次の50周年に向けて繋げていければと願います。

この度の発刊にいたるまで、皆様方のご協力を頂きましたこと、深く感謝いたしますと共に厚くお礼申し上げます。

編集責任者 創立45周年実行特別委員会

委員長 堀尾 知弘
記念誌部会長 山添 謙三
記念誌副部会長 坂根 栄六
稲本 和彦
今西 宏和
小澤 行信
武田 啓介
廣野 悦朗
宮崎 輝彦

発行 社団法人 宮津青年会議所
〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2054-1
TEL/FAX (0772) 22-5203
URL <http://www.jcmiyazu.jp/>
E-mail jcmiyazu@tiara.ocn.ne.jp

編集 社団法人 宮津青年会議所
創立45周年実行特別委員会

印刷 三景印刷株式会社
発行 2012年12月